

科目名	<b>社会福祉基礎</b>	教科	福祉	単位数	2
教材	教科書「社会福祉基礎」実教出版、副教材「介護職員初任者研修テキスト」中央法規	教材費 (予定定価)	『介護職員初任者研修課程』受講生必要教材セット8,966円		

○	系列選択科目	必修系列	子どもと暮らし	選択できる系列
---	--------	------	---------	---------

自由選択科目	選択する学年	2
--------	--------	---

選択の条件	介護職員初任者研修課程受講生は必修。「生活と福祉」、「暮らしと社会生活A」も併せて受講すること。修了評価テスト、ボランティア体験がある。
選択のめやす	「子どもと暮らし」系列選択者で、高齢者福祉を深く学びたいと考える人。
学習目標 (どのような力をつけるのか)	社会福祉について多くのことを知り、関心を深めることにより、将来社会福祉の仕事に就きたいと考えている人にとっての基礎の力を養うことを目的とする。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	教科書を中心に学習を行う。社会福祉が日常生活にどのように結びついているのかを考え、演習も交えながら福祉への興味・関心を高めていく。
評価方法	各学期に、定期考査を実施。 授業・演習への取り組みの様子と、提出物などから総合的に判断する。

学習計画  
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
1学期 介護における尊厳の保持・自立支援 人権と尊厳を支える介護 自立に向けた介護	介護を必要とする人が有する権利とは何かを学ぶ 介護に関する基本的な視点(ICF、QOL、ノーマライゼーション)について理解する。 利用者の権利を擁護するための制度の種類や内容について理解する。
2学期 介護・福祉サービスの理解と医療との連携 介護保険制度 医療との連携とリハビリテーション 障害者総合支援法(障害者自立支援制度)とその他制度 個人の権利を守る制度の概要	介護保険制度が創設された背景を理解したうえで、制度の目的と動向について学ぶ。 介護保険制度の基本的なしくみを理解する。 介護保険制度にかかわる組織とその役割を理解するとともに、制度の財政について学ぶ。 対人援助関係におけるコミュニケーションの意義と目的を理解する。
3学期 介護におけるコミュニケーション技術 介護におけるコミュニケーション 介護におけるチームのコミュニケーション	介護におけるコミュニケーションの役割と技法について理解する。 利用者に応じたコミュニケーションの実際を理解する。

評価の観点

関心・意欲・態度	社会福祉に対する関心をもち、福祉社会にむけた課題に意欲的に取り組もうとしている。
思考・判断・表現	日常生活の中にある、社会福祉の問題について気づき、解決のため創意工夫をする能力を身に付けている。
技能	社会福祉に関する様々な情報を適切に選択し、実習などで適切に活用することができる。
知識・理解	現代社会の社会構造の変容や特色についての基本的な知識を身に付けている。

科目名	<b>コミュニケーション技術</b>	教科	福祉	単位数	2
教材	教科書「コミュニケーション技術」実教出版		教材費 (予定定価)	720円	

系列選択科目	必修系列	選択できる系列
--------	------	---------

<input type="radio"/> 自由選択科目	選択する学年	3
------------------------------	--------	---

選択の条件	なし
選択のめやす	2年次に子どもと暮らし系列を選択しており、高齢者福祉、障害者福祉を深く学びたいと考える人が望ましい。
学習目標 (どのような力をつけるのか)	高齢者や障害者と接する際の共感的態度やコミュニケーションの基本・技法について学ぶ。実践演習を中心に、介護福祉援助活動で活用できる実践能力を身に付ける。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	教科書を中心に学習を行う。社会福祉が日常生活にどのように結びついているのかを考え、演習も交えながら福祉への興味・関心を高めていく。
評価方法	各学期に、定期考査を実施。 授業・演習・発表への取り組みの様子と、提出物などを総合的に判断する。

学習計画  
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
1学期 介護におけるコミュニケーション コミュニケーションの意義と役割 コミュニケーションの基本技術 援助の技法とコミュニケーション  2学期 サービス利用者や家族とのコミュニケーション サービス利用者や家族とのコミュニケーション サービス利用者に応じたコミュニケーション  3学期 介護におけるチームのコミュニケーション 記録 チームによる連携 スーパービジョンの技法	コミュニケーションの意義や役割を理解する。 サービス利用者や家族あるいは多職種との協働におけるコミュニケーションのあり方について理解する。 チームケアのためのコミュニケーションの重要性について知る。 記録等についての知識・技術を習得する。 介護実践、援助活動で活用できる能力と態度を養う。

評価の観点

関心・意欲・態度	意欲をもって授業に取り組み、提出物をきちんと提出できている。
思考・判断・表現	様々なコミュニケーションについて、自分なりに考えて表現することができる。
技能	実技の技能を習得している。
知識・理解	コミュニケーションに関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。